

私の提言

学習力と運動力の土台をつくる



一般社団法人日本ビジョントレーニング普及協会理事
横田 幹雄

2005年よりメンタルカウンセラーとなり心のケアを始め、その後ビジネスコーチング、研修講師、独立行政法人でアドバイザーを経て、NPO団体に所属し国自立支援事業でキャリアコンサルタントとして活動。不登校、引きこもり、フリーターの若者の自立支援をおこなうなど多彩な経験を持つ。「べすとびじょん」メソッド開発者。

性障害（A D H D）や学習障害（L D）、読み書き障害（ディスレクシア）などの発達障害が見られる子どもたちの課題改善・克服にも活用され、実践的なプログラムとしても注目されている。ただ、残念ながら、日本ではほとんど知られていない現状がある。

このため、普及協会では、3～15歳までの発達の土台をつくるビジョントレーニングのスタジオ運営、保護者を対象としたビジョントレーナーの認定や講師養成、心を整える脳波測定カウンセリング、保育園や教育委員会、小・中学校でのビジョントレーニング講演会などを実施してきた。

具体的には、ビジョントレーニングは眼球運動をはじめとする視機能のトレーニングや、目と手や身体、目と脳を連動させる体幹のコンディショニングなどが主な内容となる。これに、メンタルトレーニングとキャリアコーチングを組み合わせたメソッド（べすとびじょん）を独自に開発してきた。

まだ、一部の自治体での取り組みにとどまっているが、発達に課題のある一部の子どもだけでなく、すべての子どもにとって必要な教育プログラムとして、子どもたちの笑顔と「できた！」をつくる機会として、理解していただき、活用が広がっていくことを願っている。

「ビジョントレーニング」は、目の諸機能（視覚機能）を鍛えることによって脳を活性化させ、視空間認知能力を向上させるとともに、人間本来が持っている集中力や判断力、情報処理能力など、さまざまな能力を高めていくプログラムのこと。欧米では80年以上前から試みられており、最近では、子どもの注意欠陥多動

では、行政とも連携して、5月からは児童発達支援と放課後等デイサービスの一環としての取り組みもスタートした。この中の療育活動では、ビジョントレーニングに特化した内容の支援プログラムを取り入れ実施している。

このほか、大阪府では、泉大津市の教育委員会とも連携して、学校現場の特別支援教育コーディネーターの先生方を対象に、ビジョントレーニングのプロを養成するための同様の研修を実施し、修了後に資格認定する仕組みも始まっている。

平衡感覚や固有感覚、触覚の3つの基礎感覚に加えて、視覚と聴覚機能の5つの感覚機能を育てることで、視空間認知

特集

コロナ対応—私の一年

06 これからの学校の姿とは

遠藤 洋路

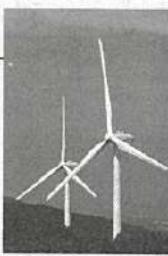
10 コロナ禍でも安心できる「里山」を

堀崎 茂

14 可能性と希望を導き出す実践を

齋藤 卓也

巻頭インタビュー



02 フェイクニュースの拡散防止に

自分が信じる「正しさ」を見直そう

山口 真一

私の提言

04 学習力と運動力の土台

をつくる

横田 幹雄

05 安心・安全な自転車の

利用を

遠藤まさ子

連載

がっこう はじめて ものがたり 加藤 昌男
「1人1台」をどう活用「GIGAスクール」

GIGAスクール構想

玉置 崇

20 日常的に触れることが大切

小野 審史

22 変わるゲームの世界

竹内 美帆

23 教師に読んでほしいマンガ

合田 哲雄

『ちいさいひと 青葉児童相談所物語』

24 プロムナード霞が関
ゆとり（探究）か詰め込み（習得）か25 3. 11からの教訓①・命を守るためにの覚悟
教員の心のサポート

相模 貞一

26 メンタルヘルス向上へのサポート

石隈 利紀

27 北から南から
地域学で挑む学校改革

ひろば

28 新型コロナウイルス感染症対策を
講じた取組について30 教育をめぐる動き NEWS DIGEST
国・地方の動向・各種団体の動向

32 編集後記

令和3年6月1日発行
(毎月1回1日発行)第507号

6

令和3年／6月号
No.507

特集○コロナ対応——私の1年

日本教育

月刊



公益社団法人日本教育会
-Japan Education Corporation for the Public Interests-